

# みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ（エレミヤ31:21）

## 人になれ 奉仕せよ

聖句：わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。（ヨハネによる福音書 10：11）

保育目標： 0歳児 ・自分でやってみようとし、できたことを喜ぶ。冬の遊びを楽しむ  
 1歳児 ・神さまに愛され、守られていることを知る。友だちと一緒に遊びを共有する。  
 2歳児 ・神さまに愛され、守られていることを知る。自分の思いや遊びが尊重され満足感を感じる。  
 3歳児 ・新しいことに興味を持ち、繰り返し遊ぶ。お正月遊びを楽しむ。  
 4歳児 ・遊びの中で楽しさを見つけ、繰り返しじっくりと取り組んで満足感を得る。  
 5歳児 ・友だちと時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ。自然を感じながら屋外で遊ぶ。

新年あけましておめでとうございます。2026年、みなさまはどのように迎えられましたか。年末年始、帰省されおじいちゃん、おばあちゃんのお家でのおんびり過ごされた方、また旅行先で新年を迎えられた方、親戚が集まりゆっくり家族団らんを楽しまれた方など様々でしょう。どこにいても、どんな時でもいつも神さまの守りと祝福のなかで今年も歩んでいけますようにとお祈りいたします。

子どもたちは、お正月にどのような遊びを楽しんでいたのでしょうか。今の時代のようにデジタル化ではなかった子ども時代を過ごしている私は、家族でボードゲームやトランプ、カルタ、凧あげ、羽根つきなどをして過ごしていました。家族でゲームをしながら盛り上がったあの時間は子どもながらに嬉しく、楽しかったなと懐かしく思い、どこかへ出かけて行くというよりは、家族で過ごしていた時間の思い出が心に残っています。こども園では、日ごろからカードゲームをして遊んでいます。先日、子どもたちと一緒に百人一首の「坊主めくり」をして遊んでいました。初めは、自分の持ち札が少ないのですが、徐々に増えていくと一枚カードを引く度に、「ひめ！」「色付き！」「坊主！！」等と声を挙げて喜びながら捨て札を自分の持ち札に追加したり、全部捨てたりと、次に回ってくる自分の順番をドキドキ・ワクワクしながら、ゲームの面白さを味わっていました。ゲームをしながら子どもたちの様子を見てみると、一緒に楽しんでいる友だちの姿やことば、行動、態度をよく見ながら相手を理解しようと対話しているなど感じます。「ルールを明確に理解してない子」や「右回りで順番が回ってくるルールなのに、早く引きたい思いが前に出てつい順番を抜かしてしまう子」等には、その子なりの「ことば」や「しぐさ」で伝えていました。教えてもらった子も、友だちの声を自分の中に聴き入っていました。また、遊んでいる過程で、手持ち札が多くなり自分の手で抱えきれなくなったり、捨て札が多くなったりした時には、「この箱に入れてね」と創意工夫がなされていました。本当に身近な遊びの中にも、沢山の要素が含まれています。「遊び」を通して育まれていく人間関係。そこには「違いを受け入れる、違うものを大切にする。自分と違う価値観を持った人と出会うことで自分の意見が変わっていくことを潔しとする態度」が対話の原則であり、この対話を通して異なる価値観の交流によって自分自身が変化していくことを受け入れていくことが出来ます。（加藤繁美 キ保講習会掲載）と話されています。遊びの中でこのような機会が多く作られることで、子どもたち同士が互いに認め合い、受け入れ合い、時には折り合いをつけていくことも必要であることが経験として積み重なり、良い人間関係を築いていくことができるのではないのでしょうか。また、周りにいる私たち大人も「子どもの心もち」（子どもの内側にある微細な感情や、その瞬間を生きる子どもの主体的な心の動き～倉橋惣三 育ての心～）を理解し、尊重し寄り添いながら子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。

今年度もあと3か月で終わっていきます。特に、年長組の子どもたちにとっては、こども園で過ごす時間が限られています。卒業式までの期間、充実した豊かな時間が過ごせるように子どもたちと一緒に生活を作っていきたいと思えます。また、乳児クラス、年少組、年中組の子どもたちも1つ大きくなることが喜びとなっていくように、そして安心して過ごさせていけるように関わっていききたいと思えます。保護者の皆様、今年も六浦こども園の教育・保育へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

副園長 松下 成美